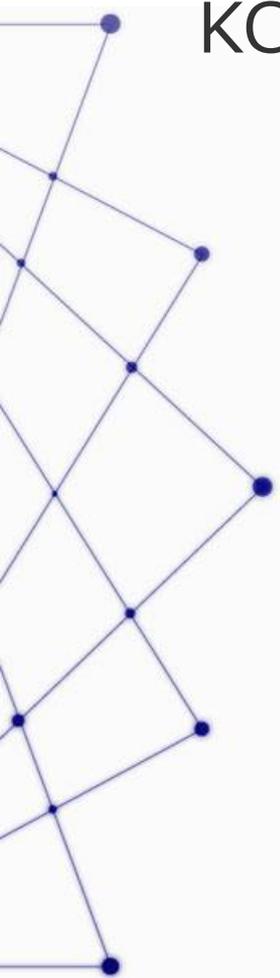


【KCPS オブジェクトストレージ】 3rd Partyアプリケーション 初期設定方法

CloudBerry Explorer



KCPS オブジェクトストレージのAPIキーの払い出し

CloudBerry Explorer (Windows)

注意事項

3rdパーティ製のCloudBerry は、KDDIとしてサポートしておりません。これらのアプリケーションを利用したことによるファイル破損等におきましては、お客様責任でのご利用をお願い致します。

また、一部KCPS オブジェクトストレージの仕様と合わない機能があり、操作できない機能もございます。ご了承のうえご利用頂きますようお願い致します。



KCPS オブジェクトストレージ

APIキーの払い出し

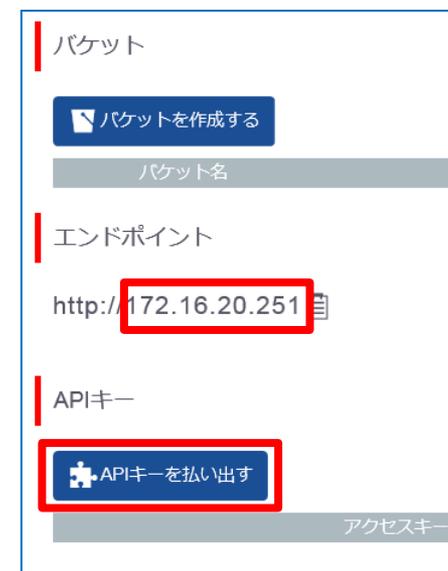
KCPS オブジェクトストレージ APIキーの払い出し

KCPS管理画面より、「Object Storage」を選択します



KCPS オブジェクトストレージの詳細画面が表示されます（右図）

- バケット
作成しているバケットの一覧が表示されます
- **エンドポイント**
申請時に記入したIPアドレスが表示されます
- APIキー
1 契約でAPIキーは2 つまで払い出すことができます



KCPSナレッジサイト抜粋

<https://iaas.cloud-platform.kddi.ne.jp/service/function-list/>
Admin Consoleの主な機能> No.4 オブジェクトストレージ

KCPS オブジェクトストレージ APIキーの払い出し



ボタンを押すとAPIキーが払い出されます

アクセスキーと**シークレットキー**をメモしておきます
シークレットキーの表示は、払い出し時のみなので注意願います



KCPSナレッジサイト抜粋

<https://iaas.cloud-platform.kddi.ne.jp/service/function-list/>
Admin Consoleの主な機能> No.4 オブジェクトストレージ



CloudBerry Explorer (Windows)

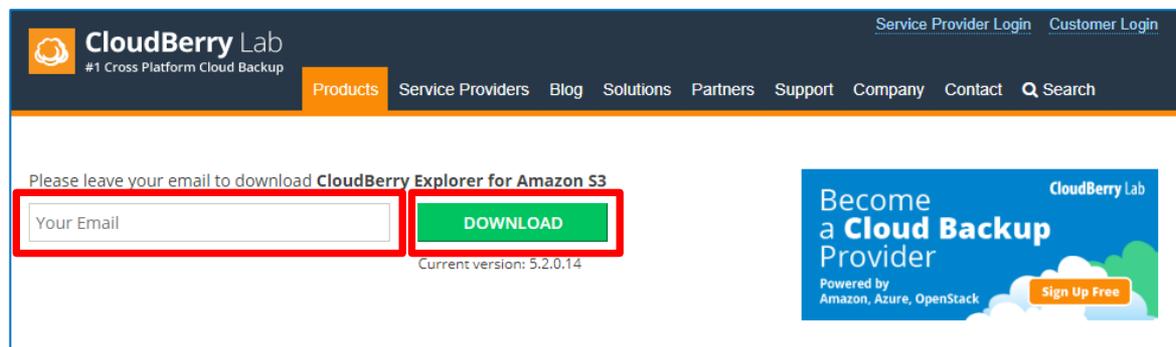
インストール -1

CloudBerry Explorerのダウンロードは以下のサイトからアクセスします

<https://www.cloudberrylab.com/explorer/amazon-s3.aspx#close>

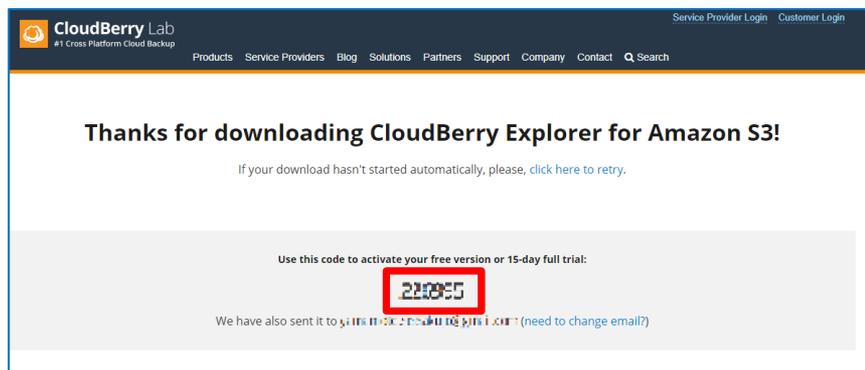


Downloadボタンをクリックすると下図の画面に遷移しますのでメールアドレスを入力し、DOWNLOADをクリックします

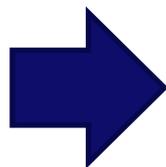
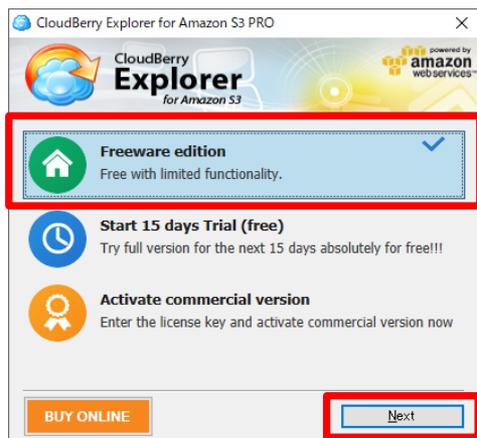


インストール -2

画面が遷移し、アプリケーションのダウンロードが行われます
下図のようにFree version で使用するキーが表示されるのでメモしておきます



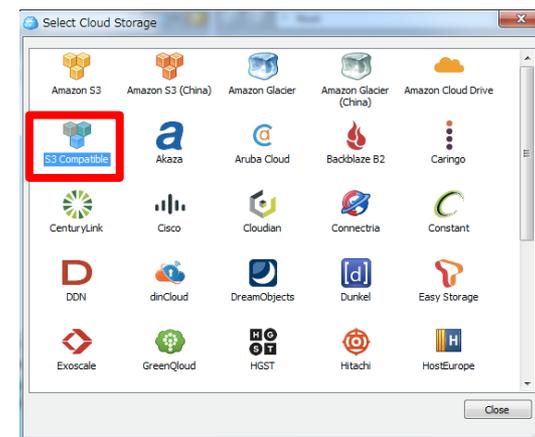
ダウンロードされたインストーラーを実行し、インストール終了後に下図が表示されます
Freeware edition を選択し、Nextをクリックします
上図のキーを入力し、Start FreewareをクリックするとCloudBerry Explorerが起動します



初期アカウント設定-1

CloudBerry Explorer が起動しましたら

アプリ起動直後に表示される「Select Cloud Storage」画面から「S3 Compatible」を選択するか



または「File」から

「New S3 Comatible Account」の「S3 Compatible」を選択するか
「Add New Account」から「S3 Compatible」選択します



初期アカウント設定-2

Display Name:
⇒任意の名前を入力

Service point:
⇒エンドポイントIPアドレスを入力 (P 5 参照)

Access key:
⇒KACで作成したアクセスキー (P 6 参照)

Secret key:
⇒KACで作成したシークレットキー (P 6 参照)

Use SSL:
⇒チェックしない

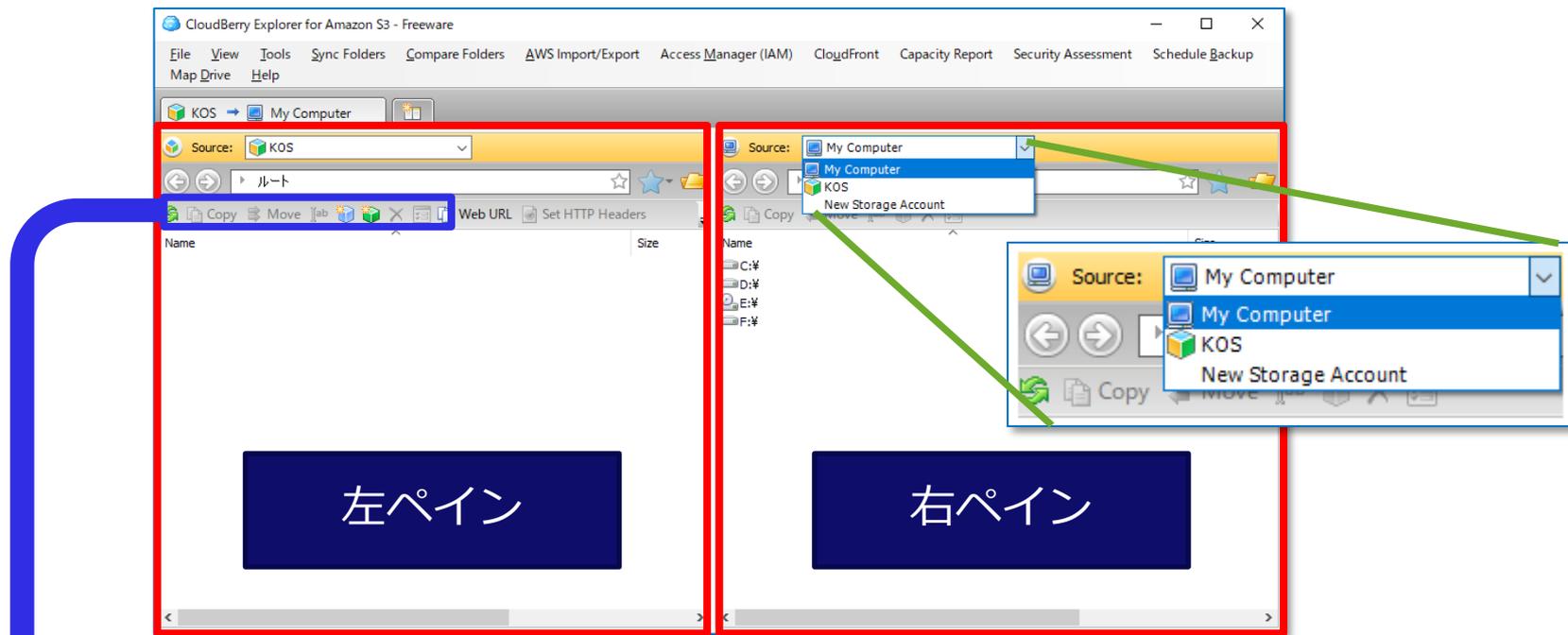
Use native multipart upload (recommended):
⇒チェックを入れる

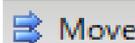
上記項目を設定してOKボタンをクリックします

操作画面

左右のペインに分かれて表示されます

片方の「Source」をKCPS オブジェクトストレージに、もう片方をローカルPCに設定、もしくは、左右にKCPS オブジェクトストレージの別々のフォルダを設定して操作します



	: リフレッシュ		: リネーム
	: ペイン間コピー		: フォルダ作成
	: ペイン間移動		: 削除



Quality Cloud